

がんの痛みのほとんどは、薬を適切に使うことで8~9割の痛みが緩和可能と言われています。

## 《WHO 方式がん疼痛治療法》

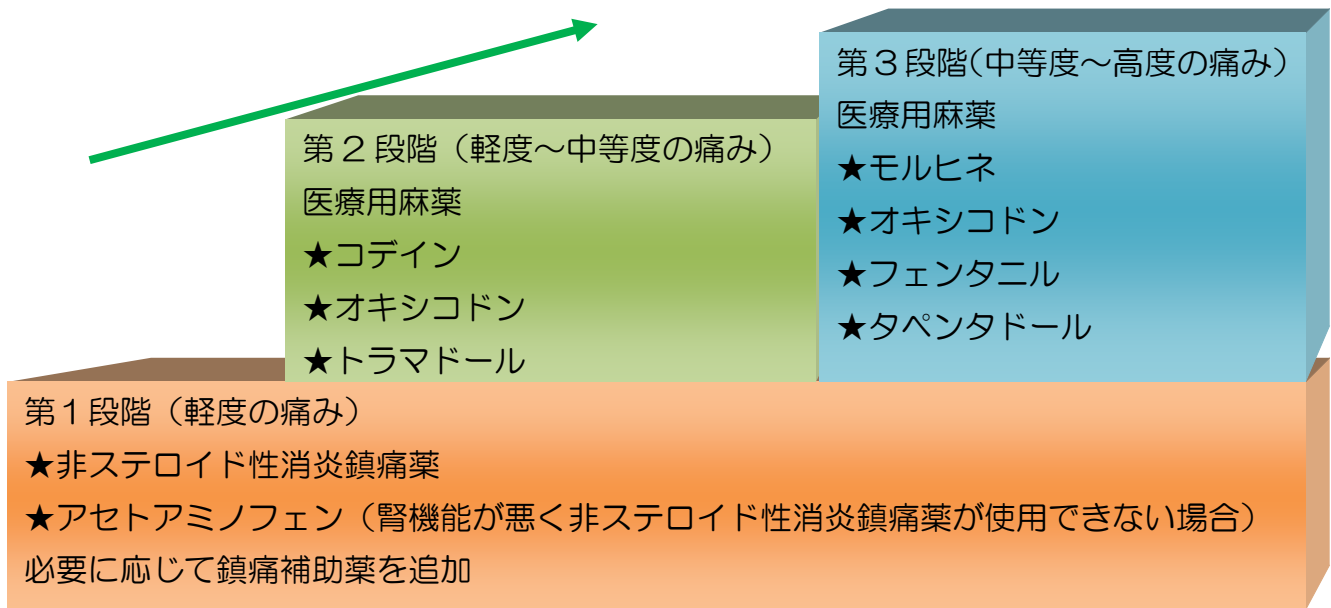
現在痛みの治療に多く用いられるWHO方式がん疼痛治療法は、世界的に最も効果的な治療法とされています。この方法では痛みの強さによって段階的に鎮痛薬を使います。



### 痛みに応じた治療

#### 〈WHO 3段階除痛ラダー〉

痛みの強さに応じて各段階で使用される鎮痛薬が決められています。



## 鎮痛薬の使い方~WHOの5原則~

1. なるべく簡単な内服薬を第一選択します
2. 時刻を決めて規則正しく使用します
3. 効力の弱い薬から段階的に使用し、効力が不十分なら効力が強い薬に切り替えます
4. 患者さんごとにあつた薬の量を使用します
5. 副作用症状の予防や患者さんの心の状態など、細かい配慮を行います

痛みは患者さんご自身にしかわからない症状です。  
医療者に「いつから」「どこが」「どんなときに」  
「どのくらい」痛むのか具体的にお話ください。

